

令和8(2026)年

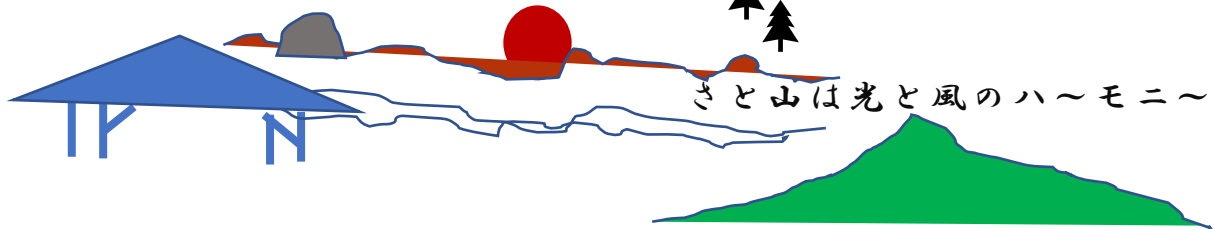
7月10日発行

日の出町ハイキン

グガイドの会

日のハイ通信

日の出山 第15号



ヤマオダマキ（日の出山山頂直下、南東～北東側）

ヤマオダマキはキンポウゲ科オダマキ属の日本原産の多年草で、日の出山では毎年6月中旬から7月末頃まで多数の株が草丈20～30cmに伸びてきます。オダマキは生命力の旺盛な植物で、種がこぼれるとほとんどの地でも生えるほど元気です。

オダマキの名は右下の画像の苧環（オダマキ）に由来し、昔麻糸を巻くのに利用していました。養蚕が盛んだった頃は日本全国のどの家でも見られた糸巻器でしたが今では知らない人の方が多いと思います。ヤマオダマキの黄花をキバナノヤマオダマキといいます。

大多摩トレイルを歩くに参加して

太田 まき子

私は鳩ノ巣溪谷や白丸ダムなど、ピンポイントで訪れたことはありますが、一度に全長8.2km のコースを歩くのは初めてでした。集合地点の JR 古里駅では沢山の燕が飛び交い、花や北向き地蔵、ちょっとドキッとさせられた林立する^か山^か子^しなどを見ながら、多摩川を遡上して進んでゆきました。舗装道路では日差しが強く感じられましたが、山道に入ると時々吹く風が心地よかったです。



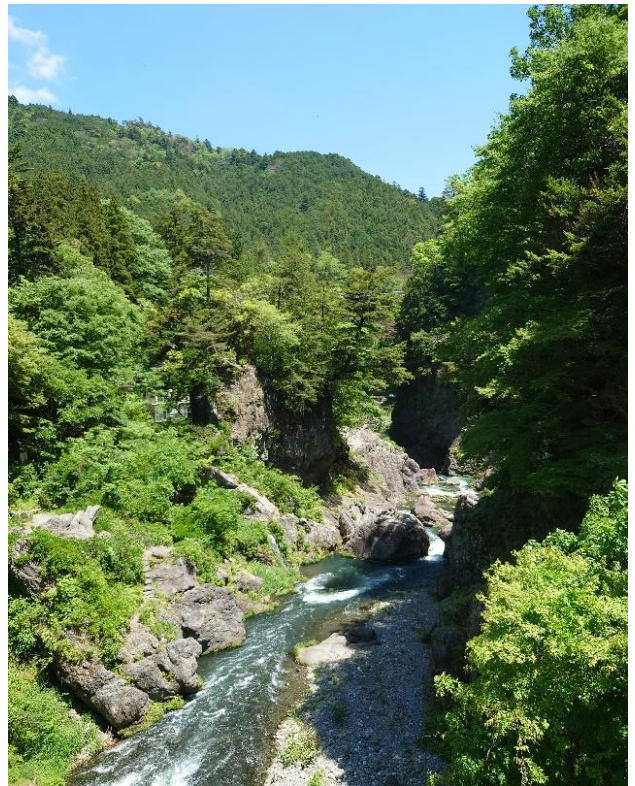
土場付近(寸庭橋から多摩川の下流を望む)空木の白い花が『♪卵の花の匂う垣根に…』と口ずさみたくなるほど可憐に咲いていました。



多摩川水神社前

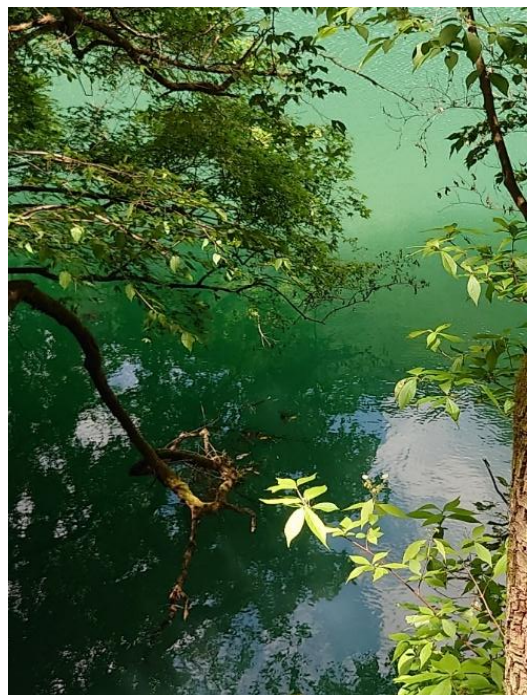


鳩ノ巣小橋



鳩ノ巣溪谷(鳩ノ巣小橋より)

足取りも軽やかになり、白丸湖畔の綺麗なエメラルドグリーンに癒されていると「奥入瀬に匹敵するくらいなのでは!？」とのお話に、そういえば以前来た時もしばらく足を止めて眺めていた事を思い出しました。



白丸ダム右岸の遊歩道を遡上

何度訪れても楽しめるコースですね。今日は新緑の溪谷歩きを満喫したので、今度は紅葉の頃に訪れてみたいです。

私の山との出会い

ガイド 金子裕

物心がついた頃の最初の記憶は、幼稚園時代によく遊んだ里山の一画、通称「どんぐり山」（横沢東側尾根ハイキングコースの東に位置）である。広場のように開けた場所で、友達と走り回り、夢中になって遊んだ記憶が今でも残っている。

どんぐり山という名前の通り、そこにはクヌギやコナラが生えていた。当時はただの遊び場だったが、今思えば炭焼きの跡地だったのかもしれない。人と自然が関わり受け継がれてきた里山だったのだろう。



梅ノ木峠付近

幼い頃は意識していなかったが、木々に囲まれた中を駆け回る楽しさや、未知の場所へ進んでいくワクワク感は、今の自分につながっているように思う。

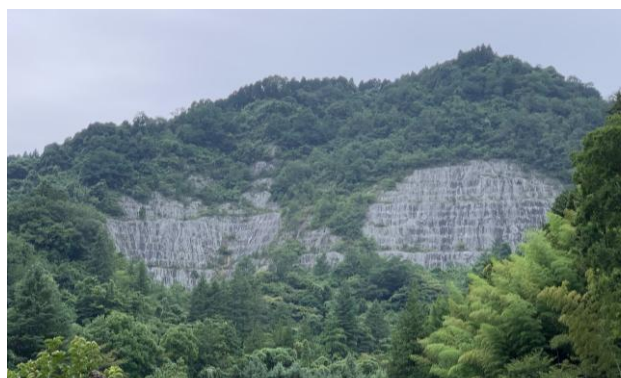
大人になった今は登山、トレイルランニングを楽しむようになり、山を歩き、走るたびに、どんぐり山で遊んだ頃の気持ちがよみがえる。季節ごとに移り変わる景色や草花、鳥のさえずりなど、山は訪れるたびに新しい発見を与えてくれる。

幼い頃に夢中で駆け回ったどんぐり山。その頃に感じた楽しさや冒険心は、今も変わらず山へ向かう原動力になっている。これからも山を歩き、走り、一つひとつの出会いや発見を大切にしながら、山の魅力を楽しんでいきたい。

勝峰山が産んだ五日市線

日本国内で自給可能な地下資源の代表をあげると石灰石とヨウ素になります。ご存知のとおり江戸城の築造にあたり利用されたのが青梅市の成木石灰でした。成木の石灰を江戸に運ぶために整備されたのが岩蔵・成木街道でこれが後の青梅街道です。

青梅鉄道は石灰石採掘と鉄道輸送の二つの事業を目的に明治27（1894）年立川―青梅間（18.5km）が、翌年の明治28年には青梅―日向和田間が開業しました。石灰石の需要は日露戦争（1904～1905）後に急増し、輸送量を拡大するため開業時の狭軌間から甲武鉄道と同じ3フィート6インチ間に改築した結果、甲武鉄道への直通が明治41（1908）年に実現。この時本格的に進出してきたのが浅野セメント（社長浅野総一郎）で、青梅鉄道の経営する石灰石採掘事業は大正9（1920）年に浅野セメントに譲渡。浅野セメントは深川工場の工場周辺地域への降灰問題から移転問題が浮上したが、折からの大戦好況によるセメント需要の増大が川崎第二工場も建設するというかつてない生産体制へと発展する。これによって青梅の採掘場は川崎工場の所属となった。この年は二俣尾雷電山での採掘が開始される年であったが、大正10（1921）年に行われた雷電山の石灰石採掘調査で鉱量が少ないことが判明、候補地として勝峰山が浮上。石灰石搬出のため五日市線が敷かれることになった。



勝峰山 2022.8.

『友の会』関連行事の紹介

ここでは、令和8年7月から11月にかけて『日の出町ハイキングガイドの会』が主催する《ハイキング》と《登山》について紹介致します。

どちらも『日の出友の会』会員の皆様から、先着順で受付け、定員に達し次第締切ります。早めにお申込みください。

申込み締め切り後、催行予定日の概ね一週間前迄には、参加の可否についてお知らせ致します。申込み後、何らかの理由で止むを得ず参加出来なくなった場合には、その旨速やかに連絡願います。交通機関のダイヤ改正等により集合時刻の変更があれば、申込者に連絡します。

令和8年12月以降の計画は『日のハイ通信』16号(令和8年10月発行)に掲載予定です。

I. ハイキング(事前申し込み制)

◎ 7/16(木)大岳鍾乳洞と大岳沢を歩く

JR 武蔵五日市駅 8:00 集合(歩程約 4.0 時間)
コース 五日市駅＝大岳鍾乳洞入口…鍾乳洞見学(700 円)…大滝…大岳鍾乳洞入口＝五日市駅

◎ 8/20(木)倉沢のヒノキと日原鍾乳洞

JR 奥多摩駅 7:45 集合(歩程約 4.0 時間)
コース 奥多摩駅＝倉沢…倉沢のヒノキ…倉沢＝日原鍾乳洞…鍾乳洞見学(900 円)…日原鍾乳洞＝奥多摩駅

◎ 9/24(木)初秋の三頭山を訪ねる(やや健脚向)

JR 武蔵五日市駅 8:10 集合(歩程約 4.5 時間)
コース 五日市駅＝都民の森…三頭大滝…ムシカリ峠…三頭山…森林館…都民の森＝五日市駅

◎ 10/15(木)よこやまの道を歩く

(万葉集にも歌われた多摩の山並みを訪ねる)
京王線若葉台駅 9:00 集合(歩程約 4.0 時間)
コース 若葉台駅…丘の上広場…防人見返りの峠…一本杉公園…中央公園…多摩センター駅

◎ 11/26(木)北欧気分にする加治丘陵

JR 金子駅 9:00 集合(歩程約 4.0 時間)
コース 金子駅…阿須ハイツ 丘陵…桜山展望台…トハヤツリあけぼの子ども森公園…阿須山…西武線仏子駅

II. 登山(事前申し込み制)

◎ 7/26(日) 白谷沢から黒山・岩茸石山・高水山を経て軍畑駅へ 健脚向き

西武線飯能駅 7:50 集合(歩程約 6.5 時間)
コース 飯能駅＝さわらびの湯…白谷橋…権次入峠…黒山…岩茸石山…高水山…平溝通り…軍畑駅

◎ 8/30(日) 大菩薩嶺の日帰り登山 ※

JR 甲斐大和駅前 7:45 集合(歩程約 5.0 時間)
コース 甲斐大和＝上日川峠…唐松尾根…大菩薩…プロムナードコース…大菩薩峠…上日川峠＝甲斐大和

◎ 9/13(日)落合～黒川鶏冠山を経て柳沢峠 ※

JR 塩山駅南口 8:15 集合(歩程約 5.0 時間)
コース 塩山駅＝落合…梅ノ木尾根…鶏冠山…黒川山…六本木峠…柳沢峠＝塩山

◎ 10/4(日)大羽根山から榎寄山

JR 武蔵五日市駅 7:55 集合(歩程約 5.5 時間)
コース 武蔵五日市駅＝浅間山登山口…大羽根山…(笹尾)…榎寄山…仲の平…数馬＝武蔵五日市

◎ 11/8(日)日の出アルプスを歩く(パート 1)

西東京バス尾崎(あきる野)バス停 8:10 集合(歩程約 5.0 時間) 集合場所の尾崎迄は JR 福生駅又は JR 五日市駅よりバス約 20 分
コース 尾崎…ひので野鳥の森自然公園…二ツ塚峠…旧二ツ塚峠…肝要峠…肝要バス停＝五日市駅

III. 参加費の一部変更について

※印の企画については、遠隔地における催行につき、¥2,000.-とさせて戴きます。諸般の事情ご賢察の上ご了承賜りたく、お願い致します。

IV. 雲取山宿泊登山について(ご案内)

会員の皆様からご要望のあった雲取山宿泊登山について、今年度は初日、三峰神社から登り雲取山荘で宿泊。二日目は雲取山の山頂を踏み、セツ石山を経由して鴨沢登山口に降りて参ります。

紅葉シーズン最盛期の 10 月催行につき、『友の会』の皆さんから、先着 12 名様限定での受付となります。

催行予定:10/21(水)～22(木) 1泊2日

費用:¥20,000.- (宿泊費・傷害保険料等込み)

申込期限:9/21(月) 但し定員に達し次第締切ります。

V. 『日のハイ通信』について

◎ バックナンバー

右の二次元コードからこの 15 号をはじめ、創刊号から今まで発行済みの『日のハイ通信』をカラー版で閲覧可能です。



◎ 日のハイ通信に関するご意見等は下記へ

日の出町ハイキングガイドの会

会長 石川 剛 宛

Email: mk.3193@outlook.jp